

スペイン・インディバ社 40周年にあたり 世界で最も歴史ある 総代理店として さらなる前進へ



株式会社インディバ・ジャパン
山口 祐司 代表取締役会長

日本国内でもエステティックサロンをはじめとする美容業界、治療院などの医療機関、さらにはスポーツ医学の分野においても確固とした実績をあげているスペイン生まれの高周波温熱機器「インディバ®」——この「インディバ®」を日本に紹介し、美容業界をはじめとする各分野に普及・浸透させたのが、株式会社インディバ・ジャパン(本社・東京都目黒区)。同製品の製造メーカーであるスペイン・インディバ社の40周年にあたり、日本の総代理店である株式会社インディバ・ジャパンの



山口祐司代表取締役会長にこれまでを振り返っていただきながら、今後に向けての展望や抱負などを語っていただきました。

スペイン・インディバ社 CEO
レムコ・シュミッツ氏

美容業界をはじめとする幅広い分野に「インディバ®」が導入されている理由

スペイン・インディバ社の設立は1983年のことになります。今年は同社の40周年にあたり、世界各国で長年にわたって愛用されている「インディバ®」の価値の高さが再認識されているのではないのでしょうか。

「インディバ®」は物理医学博士であるスペインのホセ・カルベット氏によって開発されました。その特徴は、電磁波エネルギーを利用することにより、身体の深部まで容量の多いエネルギーを透過し、人体の各組織に安全レベルのジュール熱(摩擦熱)を発生させることにあります。これによって身体の深部から血液やリンパの流れを改善し、代謝を促進させるなど多岐にわたる働きが期待できるというものです。こうした機能性については様々な研究によって実証され、美容業界をはじめとする幅広い分野に「インディバ®」が導入されている要因となっています。

ところで、私と「インディバ®」の出会いは、1988年のことになります。当時、前職の関係でスペインが拠点のひとつになっていたことがきっかけでした。その後、なんとどなく日本とスペインを往来し、私が日本国内に「インディバ®」を紹介したのは1994年のこと。そして翌95年に株式会社インディバ・ジャパンを設立したという経緯になります。

ですから、インディバ・ジャパンも今年29周年を迎えることになるわけです。しかも、私どもインディバ・ジャパンは、世界各地にある代理店のなかで最も歴史ある総代理店でもあります。

40周年を数えるスペイン・インディバ社における当社の位置づけが、このことからおわかりになるのではないのでしょうか。

コロナ禍によって改めて明らかになった「インディバ®」が有する多機能性とその価値

日本において「インディバ®」が長年愛用されてきた要因のひとつといえるのが、当社の徹底した「教育」の提供といえます。当社では、「教育あっての販売」をポリシーとし、無料講習会をはじめ様々な分野の講師を招いての特別講習会開催など充実の教育体制を整えてきました。

教育を通して知っていただくこと——たとえば、当社の特徴的な講習に「トークトレーニング」があります。お客さまに対し「インディバ®」の価値をどう説明するのか、どうして「インディバ®」が必要であるのかなど、機能性のみならずその背景を含めてお伝えするためのトレーニングになります。

もっと端的に言えば、お客さまから、「美容と健康に関する悩みや疑問をインディバ®導入施設に相談したら、なんでも答えてもらえる」という評価をいただけるようになるためのトレーニングともいえるものです。

こうした当社の教育に対する取り組みがより認知され、成果をあげることができたのが、3年以上にもおよんだコロナ禍の時期かもしれません。

私どもは常々、市場は変動していくと考えて事業に取り組んできました。

当初、美容・医療業界に求められていたコンセプトは、「健やかに美しく」「いつまでも若々しく」でしたが、現在では「健康寿命の延伸」や少子高齢化を踏まえた「単身高齢者問題」への対応が迫られるようになってきました。

そうした時代の変遷に際して、当社では消費者に信頼される

「便宜性」を提供しなければならないと考えてきました。

たとえば疼痛・痩身・内臓脂肪などの悩みに対しては、鍼灸などの整体ケアや美容医療などのケアが考えられます。一方、健康寿命につながる病気予防では統合医療などが視野に入ります。さらにエステティックの分野があります。エステティック分野には美容面へのアプローチはもちろんのこと、人間が本来持つ代謝促進や自然治癒力を高めるなどの補完的効果が期待できる技術が多々あります。

ここでいう「便宜性」とは、それぞれの分野に関する情報や知識の共有をはかることによって幅広い知識や技術を身につけ、消費者からの信頼と顧客満足度の向上へとつなげていこうとするものです。

翻って過去3年におよぶコロナ禍のさなか、未知のウイルスによって市場は翻弄され、厳しい環境に陥った業界や企業は少なくありません。しかしながらインディバ・ジャパンは、昨年の売上が過去最高を記録しました。

その要因のひとつが各分野(市場)の壁を取り除き、インディバ®ファミリーに対して幅広い知識や技術向上を提供し続けてきた便宜性があったからこそと考えています(インディバ・ジャパンではインディバ®を導入されている方々、施設を単なるユーザーではなく、ともに歩いていくファミリーと考えています)。

また、そこに「インディバ®」の機能性や価値があったことはいうまでもありません。「インディバ®」には、血行・代謝の促進、組織の改善・修復、内分泌、免疫系のバランス調整、疼痛の緩和などが期待されています。これらの機能に加えて、自律神経のバランスを整える働きもあります。未知の感染症が蔓延していた時期は、免疫を高めることへの関心が高かった一方、健康不安というストレスを軽減するうえで自律神経を整えることが重要だった時期ではないでしょうか。

そうした時代に際し、心と身体のディフェンス強化が期待できる機能性が「インディバ®」に備わっていたことも、過去最高の売上を達成できた見逃せない要因のひとつと考えています。

「ビューティーワールド ジャパン東京」にて「インディバ® EDNA」シリーズ初登場!

コロナ禍によって改めて「インディバ®」の価値が再認識されましたが、ここでインディバ・ファミリーならびにエステ業界に向けて最新のトピックスをお届けします。

当社は今年5月15日から東京ビッグサイトにて開催される「ビューティーワールド ジャパン東京」におきまして、新たに「インディバ® EDNA(エドナ)」シリーズを発表いたします。「インディバ® EDNA PRO MAX」「インディバ® EDNA PLUS」「インディバ® EDNA ONE」の3機種で構成。このなかで最上位機種になるのが「PRO MAX」になります。

「PRO MAX」の最大の特徴となるのが、新たに搭載した「TURBO MAX テクノロジー」という新機能です。この新機能により組織の温度を素早く上昇させて、目的とする温熱の作用に到達するまでの時間を短縮します。

出力が大きいために安全性についても十分に配慮。「TURBO MAX テクノロジー」は、30秒間で自動的にスイッチが切れ、その後2分間は再起動させることができない設計になっている

ため、安心感をもってお客さまに対し高い施術効果を提供できるはず。

また、機能につきましては、従来機種で「施術効果を高める」と好評だった「セルブーステクノロジー」を3機種にも引き続き搭載しています。

初披露となる「ビューティーワールド ジャパン東京」の会場では、最新機能を追加し、さらに進化した「インディバ®」の温熱をタッチ&トライで体感いただくこともできます。この機会にぜひ、インディバ・ジャパンのブースへお立ち寄りいただき、顧客満足度の向上に必ずつながる「インディバ®」をおたしかめください。



「EDNA PRO MAX」



「EDNA PLUS」



「EDNA ONE」

「ビューティーワールド ジャパン東京」
2023年5月15日(月) ~ 17日(水)
東京ビッグサイト東館

株式会社インディバ・ジャパン
出展位置

第7ホール(プラチナホール)
G-002(第7ホール受付の目の前)

株式会社インディバ・ジャパン

〒152-0003

東京都目黒区碑文谷5丁目15番1号 1F・B1F

TEL 03-5768-8871 FAX 03-5768-8872

https://indiba.co.jp/